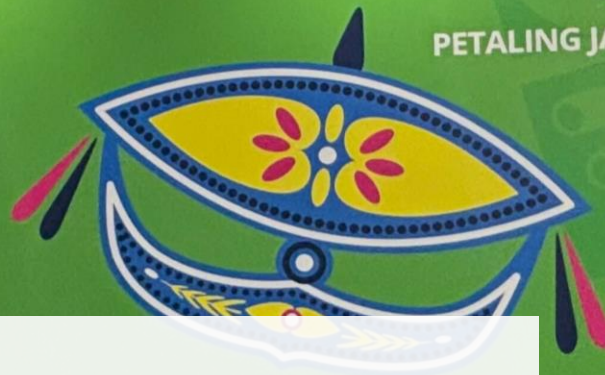


Welcome!
Selamat Datang!

APRICOT 2025
APNIC 59

PETALING JAYA, MALAYSIA
19 – 27 February 2025

#apricot2025



APRICOT2025

フェローシップ体験談

株式会社QTnet 丸山 彩雅

1. 自己紹介	3
2. 参加概要	4
3. 参加したセッション	7
4. 特に印象に残ったセッション	8
5. 総括	11

1. 自己紹介

- 丸山 彩雅（まるやま さいが）
- 株式会社 QTnet
 - 通信サービス設備部
ネットワークプラットフォーム工事グループ
- 業務
 - ピアリング、バックボーン運用
- 参加動機
 - 国外の最新技術動向の調査
 - 国内外の様々な領域の人と繋がりを作る
- 参加したきっかけ
 - 先輩からの提案



2. 参加概要

■ APRICOT とは

- アジア太平洋地域のインターネット・ネットワーク・オペレーター・サミット (<https://apricot.net/>)
- アジア・太平洋地域のエンジニアが集い、情報交換や交流を行う場

■ 開催日

- 2025年2月19日～27日
 - ワークショップ(19日～22日)
 - **カンファレンス(23日～27日) : こちらに参加**

■ 主催

- Asia Pacific Network Operators Group(APNOG)

■ ローカルホスト

- MyNOG(Malaysia Network Operators Group)



2. 参加概要

■ 参加日程

※GMT：ジャカルタ時間（-1時間）

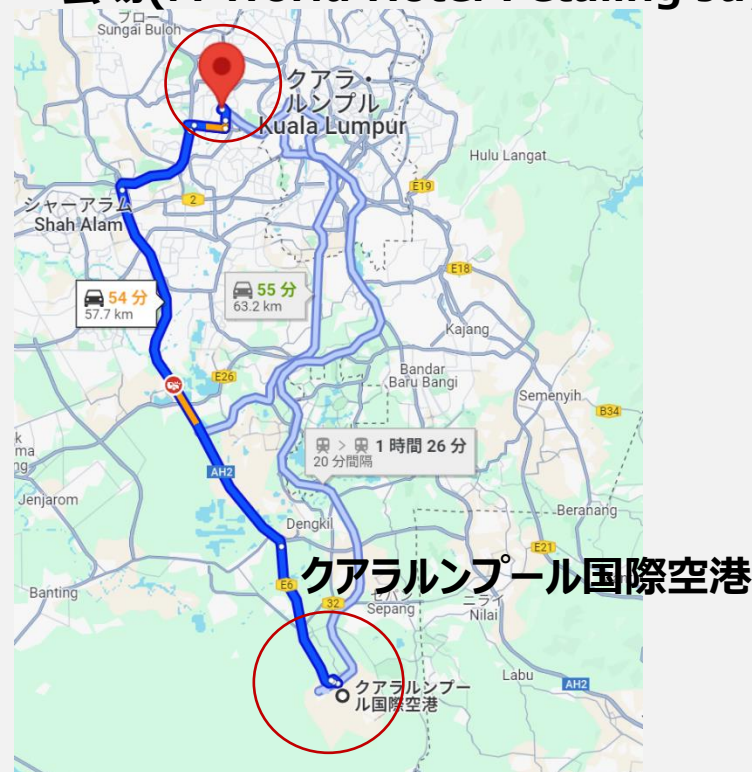
日 程		時 間 (JST/GMT) ※時差：1時間	工 程	参考	宿泊地
2/22	(土)	11:00 ↓ 12:35	福岡空港発 CHINA AIRLINES CI0111 ↓ 台湾桃園国際空港	フライト時間：1時間35分	福岡空港 ↓ 台湾空港
		15:10 ↓ 20:05	台湾桃園国際空港 CHINA AIRLINES CI9425 ↓ クアラルンプール空港着	フライト時間：4時間55分	台湾空港 ↓ マレーシア空港
2/23	(日)	終日	APRICOT 2025 Day1	情報収集、カンファレンス参加	ペタリンジャヤ
2/24	(月)	終日	APRICOT 2025 Day2	情報収集、カンファレンス参加	ペタリンジャヤ
2/25	(火)	終日	APRICOT 2025 Day3	情報収集、カンファレンス参加	ペタリンジャヤ
2/26	(木)	終日	APRICOT 2025 Day4	情報収集、カンファレンス参加	ペタリンジャヤ
2/27	(木)	終日	APRICOT 2025 Day5	情報収集、カンファレンス参加	ペタリンジャヤ
2/28	(金)	9:20 ↓ 14:10	クアラルンプール空港発 CHINA AIRLINES CI9424 ↓ 台湾桃園空港着	フライト時間：6時間50分	マレーシア空港 ↓ 台湾空港
		16:25 ↓ 19:35	台湾桃園空港発 CHINA AIRLINES CI0116 ↓ 福岡空港着	フライト時間：3時間10分	台湾空港 ↓ 福岡空港

2. 参加概要

■ 渡航方法と会場



会場(M World Hotel Petaling Jaya)



◆クアラルンプール空港～ペタリンジャヤのアクセス方法

- ・電車：約1時間
- ・タクシー：約50分

3. 参加したセッション

DAY1 (Sunday, 23 February 2025)

09:00 - 11:00 APRICOT Fellows Skills Workshop
11:30 - 13:00 APRICOT Fellows Skills Workshop
13:00 - 14:30 Lunch
14:30 - 16:00 APRICOT Fellows Skills Workshop
16:30 - 18:00 APRICOT Fellows Skills Workshop

DAY2 (Monday, 24 February 2025)

09:00 - 11:00 ISOC@APRICOT: Pulse Internet
Measurement Forum
11:30 - 13:00 Opening Ceremony and Plenary
13:30 - 14:30 Lunch
14:30 - 16:30 APRICOT Plenary
18:30 - 22:30 Opening Social & 30th APRICOT
Celebration

DAY3 (Tuesday, 25 February 2025)

11:30 - 13:00 Measuring & Automating
13:00 - 14:30 Lunch
14:30 - 16:00 APRICOT Peering Forum 1
16:30 - 18:00 APRICOT Peering Forum 2

DAY4 (Wednesday, 26 February 2025)

11:30 - 13:00 APNIC Global Reports
13:00 - 14:30 Lunch
14:30 - 16:00 APNIC NIR SIG
16:30 - 18:00 Closing Plenary
19:00 - 21:00 Closing Social

DAY5 (Thursday, 27 February 2025)

11:30 - 13:00 APNIC AGM 2
13:00 - 14:30 Lunch
14:30 - 16:00 APNIC AGM 3

4. 特に印象に残ったセッション①

■ DAY1. APRICOT Fellows Skills Workshop

■ プレゼンテーションスキルの向上を目的としたワークショップ

- APNICのフェローの方々と一緒にお題に対してディスカッション＆プレゼンテーションを行うAPNIC主催のイベント

■ 参加国

- マレーシア、ミャンマー、ネパール、インドネシア、日本、パキスタン、モンゴル、ブータン etc.
- 25人程度(内2人JPNICのフェロー)

■ ワークショップ内容

- スピーチのやり方、ボディランゲージ、発音等の座学
- 座学での内容を踏まえて自己紹介
- 即興スピーチ
- 即興でロールプレイング
 - 決められたお題に対して、司会にセールスを行う
 - お題例：今日のテクノロジーにおいて、鉛筆は必要か

■ 所感

- 海外のエンジニアと交流できる大変貴重な機会となり、グローバルな視点を養い、つながりを築くことができた点が非常に良かった



4. 特に印象に残ったセッション②

■ DAY2. ISOC@APRICOT: Pulse Internet Measurement Forum

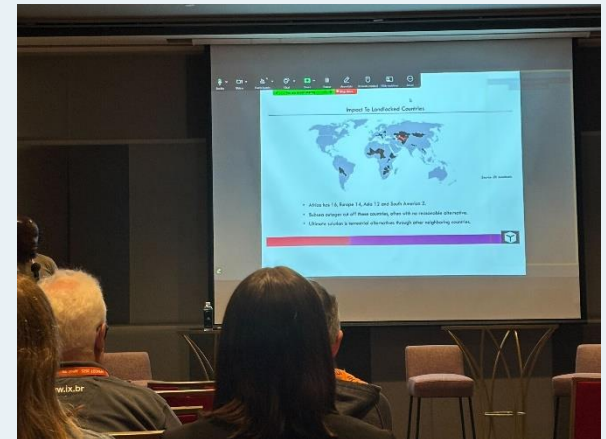
■ Protecting & Expanding Submarine Cables

■ Speaker : Mark Tinka (TransmissionCo)

- 海底ケーブルの保護と拡張性についてのセッション
- 海底ケーブル事業が低迷してきているとのこと
 - 多大な修理コスト、海の天候等が原因
- 新規の海底ケーブルはコンテンツ/クラウドプロバイダーや中国によって支援されてきており、従来の通信事業者が主体のケーブルは減少傾向にある

■ 所感

- CDN事業者が自らケーブルの投資を行うようになってきており、今後はオープンケーブルモデルの理解と取り入れが必要だと感じるセッションであった



4. 特に印象に残ったセッション③

■ DAY3. APRICOT Peering Forum

■ Evolution of Peering and Interconnection Ecosystem in Pakistan

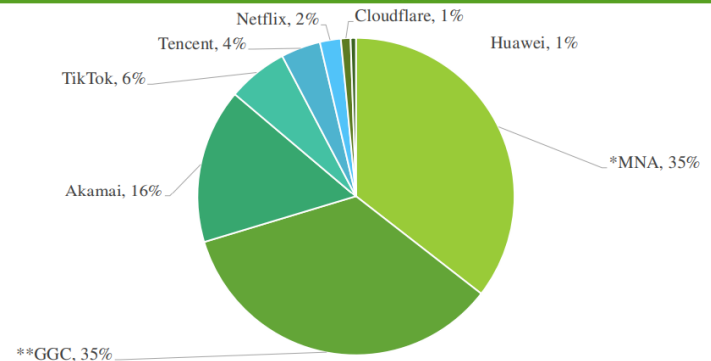
■ Speaker : Ahmed Bakht Masood (Pakistan Telecommunication Authority)

- パキスタンの通信事情についてのセッション
- インターネットトラフィックの94%が上位10事業者
- モバイルの普及率は総人口の80%程
- 5Gオークションの開始やデータセンターの整備などアップデート情報がメイン

■ 所感

- モバイルの普及率が高いことから、FacebookやInstagram等Meta系サービスの利用が多いのだと思った
- 国外の通信動向にも興味が湧く良いきっかけとなった

Internet Utilization Through CDNS - Top Servers



* MNA (Meta Network Appliances) i.e Facebook, Instagram, Whatsapp, Messenger)

** GGC (Google Global Cache (GGC) i.e Google and Youtube)

6. 総括

- ・ **インターネットのつながり**

- ・ インターネットは**人と人とのつながりの場**であることを再認識
- ・ 海外エンジニアとの交流のハードルが思ったよりも高くないと感じた

- ・ **カンファレンスでの経験**

- ・ アジア・太平洋地域のインターネット最新技術動向やポリシーの議論を直接確認
- ・ 各国の技術者が直面している課題や解決策を学び、**視野が広がった**

- ・ **今後の取り組み**

- ・ 国内外を問わず、**最新情報のキャッチアップを継続**
- ・ 地域NOGや国際会議への参加を続け、**エンジニアとのつながりを強化**
- ・ 技術者としてさらに成長し、業界の発展に貢献する意欲が高まった

6. 総括

ご協賛企業の皆様ならびに、JPNICの職員の皆様、
会期中に私と関わってくれた全ての皆様、
本当にありがとうございました！

